

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ILIS CLUB 玉造			
○保護者評価実施期間	2025年11月14日		～	2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年11月14日		～	2025年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	メインフロアと個室が3室あり、全てのバリアフリーとなっている。 児童の気質、発達段階に応じて、レクリエーション活動や課題の目標を設定している。	児童の人数に応じて職員の配置を考えている。 また、児童の様子を見て、クールダウンができるように個室等を使用して、寄り添える環境を設定している。	朝礼時に児童の個室対応をすることを見越して、どの職員がどのように配置するのか、配置の場所を検討するようにする。
2	個室やトイレ等に動物のイラストを表示し、視覚支援を取り入れている。	児童が個室やトイレが視覚的に分かりやすいように環境を設定している。 また、動物の名前を用いて、口頭指示で行動に移せるようにしている。	ホワイトボード等を使用して、プログラム等も見通しが持てるように視覚的に支援できるようにする。
3	5領域に合わせてレクリエーション活動の目標カレンダーを作成し、連絡アプリでの周知をしている。	目標カレンダーに沿った、レクリエーション活動を職員一人ひとりが毎日検討することができている。 また、目標カレンダーに沿ったレクリエーション活動を取り組むことができている。	月に1回は、5領域に合わせた目標を集団療育に通われている児童に設定できるように、土日祝等の目標の設定も工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育に使用しているモニター室のヘッドホンの反響で、音が聞き取りづらいことがある。	時間帯によっては、メインフロアでの集団療育が多い為、その音もヘッドホンが拾ってしまい、聞き取りづらくなる。	時間帯や児童数によっては、広めの個室を使用してレクリエーション活動を行えるように検討していく。
2	地域の未就学児との交流が少ない。	利用児童には様々なレクリエーション活動を取り組んでいたが、地域の未就学児との交流の機会が少ない。	他事業所との連携を図り、様々なイベントを取り組むことや、イベントに参加できるように改善していく。
3	外出支援支援の機会が少なかった。	外出支援を設ける機会が少なかった。また、感染症予防として外出を控えていた。	外出支援のイベントを少しずつ取り組み、通われている児童の方々に支援ができるように検討していく。また、外出イベントの機会を少しずつ設定していく。